

京都教区の地区制と共同宣教司牧ブロックの再編成について

司教 大塚喜直

【経緯】

- 2009年から、各地区の適正配置の検討とともに、「地区制」の見直しと、ブロックの再編も検討し始めた。
- 昨年、「地区制」を見直す前に、過渡的に司祭団は「ブロック担当司祭」ではなく、ブロックを越えて1つになって、「複数ブロックの担当司祭」として任命することを始めることになった。
2013年4月から、ブロック制を続けながら、「京都北部地区」、「滋賀地区」と、「奈良地区」において、共同宣教司牧ブロックの司祭任命を、「地区」での任命を始めた。
「京都北部地区宮津・舞鶴ブロック担当司祭」
「滋賀地区湖西・湖東ブロック担当司祭」
「奈良地区北部・南部ブロック担当司祭」
- 京都北部「宮津ブロック」は、6つの小教区が、1つの小教区になることを目指して、2012年4月から3年間(2015年3月まで)、「宮津・与謝共同体」と「京丹後共同体」で、主日のミサを行う形態での移行期間中である。
- 京都北部「舞鶴ブロック」の福知山・綾部・報恩寺の3教会は、現在、綾部教会で主日のミサを行っている。JR福知山駅前に、新聖堂と聖テレジア幼稚園の新築工事が完了次第、「福知山教会」に統合することになっている。工事完了は、2015年1月～3月の予定で、4月から、統合した福知山教会が発足することになる。
- 京都南部も適正配置対象地区だが、まだ数年は検討時間が必要である。
- したがって、予定として2015年以降のブロック数は、以下の通り。

	(現行)	(目標)
京都北部地区	: 2 ブロック	→ 1ブロック
京都南部地区	: 4 ブロック	→ 4ブロックのまま
奈良地区	: 2 ブロック	→ 1ブロック
滋賀地区	: 2 ブロック	→ 1ブロック
三重地区	: 2 ブロック	→ 2ブロックのまま
(計)	:12 ブロック	→ 9ブロック

- 11月28日の司祭評議会では、以下のことが承認された。

奈良地区と滋賀地区のブロック統合について

- ・ブロック統合の準備がある程度整っている奈良地区と滋賀地区について、2014年1月から(会計年度の開始から)、それぞれの2ブロックを1ブロックに統合する。

なお、「地区」と「地区長」のタイトルはそのままとし、「奈良地区・奈良ブロック」、「滋賀地区・滋賀ブロック」とする。

- 今後の付帯検討事項

- ・今後、各地区の「地区協議会」の存在と、ブロック制との整合性の検討と、それぞれの会計単位の処置について、検討する。

参考:奈良地区では、2014年1月から、奈良地区協議会でなく、「奈良ブロック協議会」と改称し、会計は「奈良ブロック会計」のみとする準備ができています。(司牧者の車の費用・交通費等はブロック会計から支出することになっているため)。

以上